

# 校長室だより

第76号

発行日 2013年 9月26日

発行者 桐光学園小学校長 斎藤滋

前期の学校生活が本日で終わります。前期の活動で昨年とその取り組みに違いがあったものは、5・6年生の遠足（高尾山登山）を栗平駅集合と現地集合に分けて電車を使っての移動としたことでした。多くの児童が栗平駅に集合しましたが、各学年で行っている校外学習においても可能な範囲で電車を利用するようにしていることもあり、10人程度の子どもたちと1人の教員というグループでの移動は子どもたちも慣れていますが、安全面でも心配はないように思っています。

なお、学校施設については、教室の個人ロッカーの増設、黒板下の踏み台設置、ひかりホールトイレ改修工事を行いました。子どもたちが生活しやすい環境作りをこれからも心がけていきます。

## 【きまりはだれのためのもの】

この夏は厳しい暑さが続きました。今年ほど夏休みが子どもたちの身体的安全のために必要なものと感じた年はなかったかもしれません。38度、39度という気温には大して驚かなくなり、ついには気温40度という以前は耳にしなかった数値やそれを記録した地域のことが連日テレビで報道されていました。私たちが生活している地域もそれに近いような状況だったはずですが、そのような中で子どもたちが登校してくることがなくて本当によかったと思いました。しかし、夏休み前後の暑さの中での登下校は子どもたちにとって大変だったはずですが。

学校では夏の制服としている白い帽子をかぶることと適切な水分補給をすることについて子どもたちに声をかけてきました。紺の帽子の着用は自由にして、夏の帽子をかぶることをきまりとしています。これは子どもたちの命を守るためのものであり、きまりであることが優先されているものではありません。「帽子をかぶりましょう」という声かけは、本来ならば子どもたちのことを誰よりも心配する保護者がするべきものではないでしょうか。子どもが「帽子かぶるの面倒だな」と言うようなことがあったらそのときにきちんと帽子の大切さを話していただきたいです。帽子をかぶり、汗ふきタオルを持つ。そういう当たり前のことがきちんとできている子であってほしいです。

学校や社会の決まりごとは、基本的には人を守るため、人に迷惑をかけないためにあるものだと思います。自分だけは大丈夫という気持ちの人が増えていけばいつか決まりを守る人だけに負担を強いてしまうようになるでしょう。今回は帽子のことを取り上げましたが、それ以外のことでも、例えば子どもだけの外出などについても心配は尽きません。

保護者の皆さんが、子どもたちに正しいこと、あるべき姿をきちんと伝えてくださることを願います。

## 【「自分がされていやだったこと」アンケート調査】

毎日の学校での営みの中で、自分を磨き、友だちとの交流からたくさんのことを学ぶ子どもたちです。何一つ嫌な思いをせずに物事を成し遂げることができることもあるでしょうが、一つひとつの物事を進める中でときには意見が異なることがあったり、自分が不利な立場に置かれてしまったりすることもあるはずですが、自分の思い通りに物事が進まないときに、その原因がどこにあるのかを冷静に考えることができるように私たちは子どもたちを見守っていなければならないでしょう。

このような日々の活動の中で、子どもたちの言動の中にしばしば好ましくないものがあり、友だちを傷つけてしまうことにつながるものがあります。私たちは、そのような行為を「いじめ」という言葉でひとくくりにして、それがいけないことだと話すことがあるように思います。そこで、具体的にはどのようなことをしてはいけないのかを子どもたちと一緒に考える機会を作るために、そして子どもたちに気付いてもらうために、以下のような内容のアンケートを実施することとしました。主な内容は次のようになりますが、学年によってその表現方法は異なります。また、今回のアンケートは、子どもたち一人ひとりの意識を高めることを目的とするもので、一人ひとりの子どもの実態把握がこのアンケートでできるとは考えていません。個別の相談を希望する子については別の方法で対応します。また、アンケート結果についても、保護者にお知らせすることはありませんので予めご了承ください。

### （主なアンケート内容・・・自分がされたこと）

「すれちがうときにおおげさによけられる。 なかまはずれにされたり、むしされたりする。 おかしくないのに笑われる。 変なあだなをつけられたり、変な呼び方で呼ばれたりする。 からかわれたり、悪口を言われたりする。 いやなことを言われたり、ばかにされたりする。 かるくぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする。 ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする。 役割や当番などをおしつけられたり、かばんを持たされたりする。 おどすようなことを言われたり、危険なことをさせられたりする。 服をぬがされるなど、はずかしいことをさせられる。 自分のものをかくされたり、乱暴に扱われたり、こわされたりする。 など」

また、同じような内容で、それらの行為を見たことがあるかについても調査する予定です。